

えとこだより



ここにあるすべてを、
かけがえのない
「宝もん」へ。

「蛇行する阿賀野川の夜明け」場所:阿賀町鹿瀬・角神/撮影:山口冬人氏(NPP 新潟県写真家協会理事)

もくじ

平成28年度ロバダンイベント開催レポート	6
草倉銅山・足尾銅山・持倉銅山 鹿瀬ダム・昭和電工(鹿瀬工場)など	6
特集2 阿賀野川上流域で栄えた 近代産業の光と影の軌跡	4
特集1 阿賀野川エコミュージアムを目指す流 域再生フォーラム(第6回)開催レポート	2

近代産業の光と影の遺産から何を学べば良いか

近代産業の光と影の軌跡
流域の未来にも活かしていくために

今年3月に開催したフォーラムでは、これまでのFM事業※の中で最も詳しく、「足尾銅山」に関するレポートをお届けしました。足尾は草倉銅山と同様に古河鉱業が経営した銅山の一つで、東洋一の産銅量を誇った一方、「足尾銅山鉱毒事件」などの大規模な鉱害を引き起こしたことで有名です。

しかし、不思議なことに今日でも広く知られた鉱害問題でありながら、その顛末を詳しく知る人が意外に少ないのが実情です。あれだけ騒然となった日本社会が事件を忘れてしまった後も、実は古河鉱業は鉱害防止技術を粘り強く探し続け、戦後ついに自熔製錬法(※煙害を著しく低減する銅製錬法)の発見・導入に成功し、現在では世界の銅製錬技術の主流にまでなっています。

FM事業で「公害問題」を扱う際は、企業の問題行動や責任論ばかり終始するのではなく、こうした企業側の環境配慮への地道な追求にも光を当てるよう心がけています。なぜなら原因企業を含む多くの企業が「コミットしやすい環境を、流域内に醸成していく努力が最も重要と考えるから」近代産業の光と影を見つめ直す今号の特集も、その一環と位置づけています。

※FM事業とは「阿賀野川えとこだプロジェクト」のこと。詳細はP. 8参照。

この情報誌は環境省の補助を受けて新潟県が発行しています。

夏休み子ども工作

りさいくる 利再来

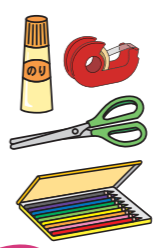


工作に参加してスタンプを集めよう!
けい品がもらえるよ!

期間 7月26日(水)~8月20日(日)
時間 毎日・10時~と14時~の2回
※月曜日は休館日です。
参加 各回先着20名
※受付は開始30分前から

ふれあい館にて! 参加無料!

※都合により一部を変更または中止する場合がございますので、あらかじめご了承ください。また、危険防止のため、未就学児は保護者と一緒の参加をお願いします。



2017年工作カレンダー



日	月	火	水	木	金	土
7			26 ロケット標	27 貝から風鈴	28 浮沈子	29 水のり万華鏡
月	30 かざぐるま万華鏡	31 休館				
日	月	火	水	木	金	土
8		1 アメリカンクラッカー	2 スライム	3 のぼるくん	4 浮沈子	5 貝から風鈴
月	6 水のり万華鏡	7 休館	8 かざぐるま万華鏡	9 ロケット標	10 スコープ万華鏡	11 スライム
	12 浮沈子	13 アメリカンクラッカー	14 休館	15 のぼるくん	16 スコープ万華鏡	17 ロケット標
	18 貝から風鈴	19 水のり万華鏡	20 スライム			

環境と人間のふれあい館のキッズクラブに入ませんか?

★対象は小学生以下の児童★

環境と人間のふれあい館キッズクラブでは、子どもたちがふれあい館に親しんで、楽しみながら環境の大切さにふれることをめざします。オリジナル会員証や缶バッジのプレゼント、ふれあい館のおしごとをプチ体験できるプログラムなどをご用意します!

内容特典

- ① 当館のかわいい Mascot が入った会員証をさしあげます。
- ② 工作教室などのイベント情報を送ります。
- ③ お好みのオリジナル缶バッジをさしあげます(※1人1個まで/キャラクターの中から選べます)。
- ④ 「ふれあい館おしごとプチ体験」に参加できます(※5m 大水槽へのえさやり・巨大ブラインドオープンほか)。
- ⑤ 誕生日にはバースデイカードを送ります。



県立環境と人間のふれあい館
- 新潟水俣病資料館 -

住所 新潟市北区前新田新々団乙 364-7
(福島湯のほとり、「ビュー福島湯」の隣です)
TEL 025-387-1450 / FAX 025-387-1451
メール fureai@abeam.ocn.ne.jp
ホームページ URL <http://www.fureaikan.net/>

ツイッターはじめました! @furai9
ふれあい館の情報をつぶやきますので、もしよろしければフォローしてください!

入会方法の詳細は、上記お問合せ先までご連絡いただくか、ふれあい館のホームページをご覧ください!

「阿賀野川えとこだプロジェクト」とは?

正式には「阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業」(略称FM事業)と言い、阿賀野川流域の各地域が今も続く新潟水俣病と向き合い、それを乗り越えるような「人と人の絆」や「人と自然の関係」をつむぎ直すため、流域の住民・行政・民間団体が手を取り合い、「新しい地域づくり」を目指して始まったプロジェクトです。

阿賀野川えとこだ! 憲章(事業理念)
私たちは新潟水俣病に学び教訓を伝承することで、負の遺産から新たな価値を創造していくことを目指します。阿賀野川流域の宝物を広く内外に発信しながら、公害により失われた人と人、人と自然、人と社会の絆をつむぎ直していきます。地域を愛する人が地域の未来をつくる「流域自治」の確立へ向けて行動します。(阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業推進委員会)

編集後記

第22号はいかがでしたでしょうか?
昨年度は阿賀野川上流域で繁栄した近代産業の変遷をテーマにして、実際に草倉銅山・持倉銅山・鹿瀬ダム・昭和電工(鹿瀬工場)の現場を巡りながら、様々なイベントを開催しました。特に、古河財閥が創業初期から経営を手がけた草倉銅山と足尾銅山に関するイベントを阿賀町鹿瀬支所と協働して開催できたおかげで、現在は草倉・足尾の歴史と教訓を学べる新しいプログラムの開発へと進んでいます。
今年度は、こうしたプログラムを検証するツアーを実施していくほか、様々なイベントも開催する予定なので、ぜひ多くの方々からご参加いただければと存じます。

阿賀野川えとこだより 第22号
発行:新潟県(※環境省補助事業) 発行日:2017年7月10日
企画編集:一般社団法人あがのかがわ環境学舎(〒959-2221 阿賀野市保田 3866-1)
TEL.&FAX.0250-68-5424
aganogawa@niigata.email.ne.jp

阿賀野川えとこだ!流域通信
<http://www.aganogawa.info/>



